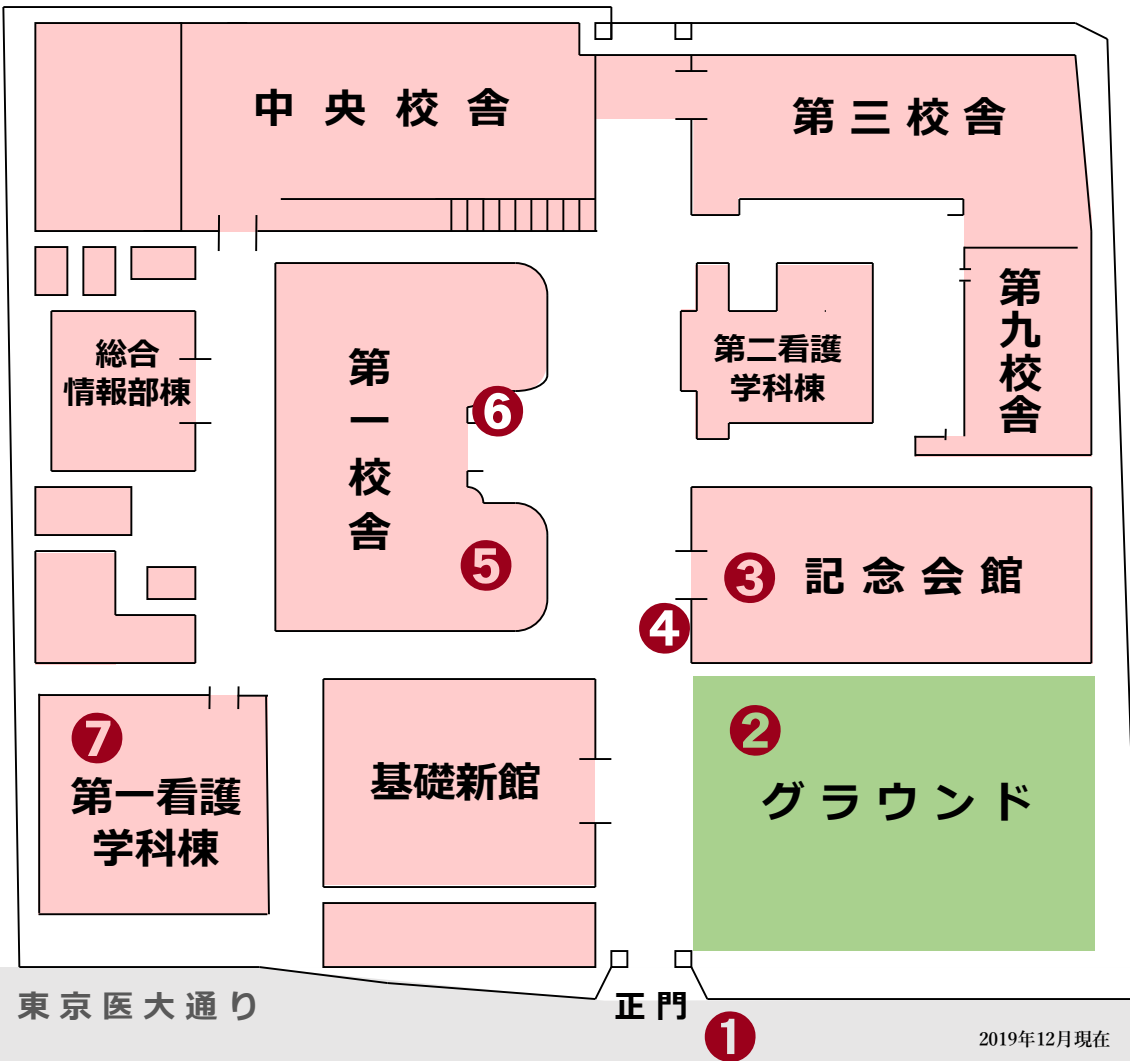


新宿キャンパスマップ



2019年12月現在

東医 ⑦ 大スポット紹介!

① 正門

大正13年に新宿キャンパスに建てられた博済病院。この病院の柱だけは長年の風雪に耐え、東京大空襲も乗り越え、正門柱として今も本学を見守り続けている。

② グラウンド

学生が部活動で汗を流すグラウンド。現在は一面、人工芝だが以前は土だった。雨天の翌日でもすぐに使用したいという学生の要望から今のスタイルに。

③ 記念会館

学生や職員が利用する地下食堂や、入学式・卒業式にも使われる屋内運動場兼大講堂のある施設。

本学創立50周年記念事業の一環として同窓のみなさんの“後世に残るものを”という熱い意志によって資金が集められて、昭和41年に建設された。

④ ヒポクラテス像とヒポクラテスの木

ヒポクラテスは「医学の父」と言われている古代ギリシャの医学者。そのヒポクラテスがプラタナスの大樹の木陰で弟子たちに医学を説いたことから、プラタナスの木が「ヒポクラテスの木」と呼ばれるようになった。銅像と木が対になって存在しているのは本学だけだとか。

ちなみに、本学にあるヒポクラテスの木は、ヒポクラテス生誕の地であるギリシャのコス島にある樹齢三千年のヒポクラテスの木のDNAをもつ木で、1978年に植樹されたものである。

⑤ 第一校舎

昭和4年に竣工、本学をずっと見守ってきた東京医大の象徴とも言える校舎。

本学は、昨年2016年に創立100周年を迎えたが、創立100周年記念グッズのデザインにもなった。



⑥ 学祖高橋琢也像

大正5年、本学の源流である「東京医学講習所」設立に尽力し全私財を投じ、支援者集めに全国を奔走して本学の基礎を創った高橋琢也に対し、全校友から感謝の意を込めて喜寿のお祝いに贈られた寿像。

⑦ 第一看護学科棟

平成25年に開設された医学部看護学科の主な学び舎。シミュレーションルームなど最新の設備が充実。

